

コロナ5類へ《収束は？》

校訓
至誠勤労
克己禮讓
質實剛健
自信和合
自治協同



発行所
愛知県立鶴城丘高等学校 鶴城同窓会

発行者
中嶋清実
編集責任者
市川徹男

鶴城同窓会の皆様には、ますますご健勝のことをお喜び申し上げます。日頃は本校の教育活動に多大なるご理解とご支援を賜り、心より感謝いたします。

任の壁谷光校長の後任と



校長
後藤真吾

着任のご挨拶

新型コロナウイルスの分類が5月8日よりインフルエンザと同じ「5類感染症」に移行し、人の動きも活発になってきました。同窓会の皆様方いかがお過ごしでしょうか。日頃は、母校へのご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。私事ですが、1月26日



鶴城同窓会長
中嶋清実

コロナ緩和時の海外旅行

鶴城同窓会長
中嶋清実

して着任いたしました。西三河地区での勤務は初めてになります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、この三年間猛威を振るつきました新型コロナウイルス感染症の出口がようやく見えてきました。校内ではマスクを外してもよくなり、クラスマイトの顔がよくわかるようになりました。学校行事は、遠足と球技大会を実施することがで、二学期の学校祭も実施を予定しています。まだ油断はできませんが、このたびの異動で、前任の壁谷光校長の後任と

アイスランドへ、フィンランドのヘルシンキで乗り継ぎ、ケープラヴィーク空港に行きます。ヘルシンキへは、ロシアがウクライナ侵攻のため、北極海上空を飛ばす2℃です。

アイスランドへは、フィンランドのヘルシンキで乗り継ぎ、ケープラヴィーク空港に行きます。ヘルシンキへは、ロシアがウクライナ侵攻のため、北極海上空を飛ばねばならず、通常10時間

から8日間の日程でアイスランドに行つてきました。アイスランドは北緯40度に位置し、首都はレバティックで地球上一番北にある首都です。人口は約36万人、面積は北海道と四国を併せた面積です。氷河とフィヨルドからなる火山の国です。人

のところを12時間かかりました。ヘルシンキからアイスランドへはアイスランド上空が強風のため飛行機が飛ばず、12時間遅れで到着しました。旅の第一の目的はオーロラを見ることでした。アイスランドはオーロラが見やすいオーロラ帯の下に位置していることが

あります。電話は変わりますが、五月二十八日(日)に「西尾市市制七十周年記念式典」が行われ、本校を代表して出席してきました。中村市長や大村県知事をはじめとする来賓あいさつ、元中の岩瀬投手の上映などがありました。式典中に隣席であった西尾高校の校長先生から「あのは、先生のことろ(西実)の卒業生だよ。」と教えていたただくことが

あります。これまで刻んで来られた多くの歴史と地域への貢献を実感することができます。また、日頃の授業の中でも市の職員の方や外部の色々な方にお世話になっています。これらのこととも同様に皆さんのおかげであると感謝しています。

また、令和五年度も変わらぬご支援・ご協力をいただけます。皆さんの後輩となる生徒の教育のために教職員一同頑張ってまいります。どうかよろしくお願ひいたします。

鶴城だより

退任のごあいさつ

前校長

壁谷 光



申し上げます。

この春の定期人事異動で、愛知県立猿投農林高等学校長を拝命し着任いたしました。鶴城丘高校は、総合学科でありましたが、猿投農林高校は農業関連の4つの学科を有する農業の専門高校です。

鶴城丘高校には、教頭として平成二十六年から二年間の通算5年間勤務しました。私は自身、卒業生の一人として、母校に勤務できたことは、大変、うれしく思うと同時に、その重責を感じました。ここまで大過なく学校を運営できたのは、同窓会長の中嶋清実様の励ましや鶴城同窓生の皆様のご支援があつたことに他なりません。これまで多方面に渡り支えていただいたことに改めて深く感謝申し上げます。

校長として勤務した2年間は、新型コロナウイルス感染症予防のため生徒の活動には制約があり、難しい判断や決断を迫られるものでした。しかし、生徒や教職員の協力で無事に授業や行事を行うことができました。本当にありがとうございました。鶴城丘は、地域から愛され高く評価されて期待される学校となっています。校長として、また同窓の一人として大変、誇らしく思います。

コロナ禍で鶴城同窓会の活動も自粛と

は、ますますご健勝のことをお喜び

なつてしまい、以前であれば、総会や各支部会で皆様方よりご指導をいただきと淋しい気持ちがありました。しかし、これらは、徐々に元の生活スタイルに戻り、また活動が再開されることを願っています。

鶴城丘高校では、今後の教員生活の指針となる貴重な体験ができました。この経験を生かし新天地でも頑張っていく所存です。

最後になりましたが、鶴城同窓会並びに鶴城丘高校のさらなる発展と皆様のご健勝とご多幸を祈念し、退任のあいさつとさせていただきます。

母校だより (R4年度)

・愛知県学校農業クラブ連盟・農業鑑定競技会

分野 農業土木

最優秀賞

オブザーバー1位

分野 農業

優秀賞

・第73回日本学校農業クラブ全国大会

北陸大会農業鑑定協議会

分野 農業土木

最優秀賞

分野 農業

優秀賞

・第4回愛知県高等学校総合体育大会

卓球競技 西三河支部予選会

優秀賞

高橋 朋栄

宮本 茜

笠原 結夢

高橋 朋栄

岸本 謙・杉浦 聰組

・令和4年度愛知県高等学校総合体育大会
卓球競技 西三河支部予選会
個人 ベスト32
大河内正俊

卓球部
男子ダブルス
第12位 岸本 謙・杉浦 聰組
男子シングルス
第19位 杉浦 聰
女子団体
第6位 女子ダブルス
第5位 岸本 謙・杉浦 聰組
女子シングルス
第3位 糟谷朋葉・古居優奈組
第6位 糟谷 朋葉

・第76回愛知県高等学校総合体育大会
剣道競技 西三河支部予選会
男子走高跳 第3位 近藤 晃由
弓道競技 西三河支部予選 予選敗退

弓道部
男子走高跳 第3位 近藤 晃由

・第76回愛知県高等学校総合体育大会
剣道競技 西三河支部予選会
男子団体
第4位 阿実 奈那
女子団体
第4位 阿実 奈那

男子団体
女子団体
文化連盟賞 tp井上 奈那
松本 莉歩
杉浦 風馬
村上 和己
小笠原菜乃 ts橋本 阿実

器楽・管弦楽部門
文化連盟賞 tp井上 奈那
as松本 莉歩
tb杉浦 風馬
b村上 和己
tb小笠原菜乃 ts橋本 阿実

男子団体
女子団体
第4位 阿実 奈那

男子団体
女子団体
第4位 阿実 奈那

第4回愛知県高等学校新人大会
卓球競技 県予選会
女子団体
ベスト32

ベスト16

音楽部
・第46回全国高等学校総合文化祭東京大会
卓球競技 西三河支部予選会

・令和4年度愛知県高等学校総合体育大会
卓球競技 県予選会
少年の部 愛知県支部予選会
通過 杉浦 啓・亀嶋 孝朗
鳥居 光志・服部 友美
杉浦 瑞南・松井華絵蘭
第3位 大竹美彩紀

・令和4年度愛知県高等学校総合体育大会
バドミントン競技 西三河予選
男子ダブルス
ベスト16 榊原誠隆・山田大輝組
少林寺拳法同好会
男子ダブルス
ベスト16 榊原誠隆・山田大輝組
少林寺拳法競技
男子自由単独演武
第5位 齋藤 祐

◆ 主な進路先 ◆

就職
株アイシン
アイシン機工株
アイシン高丘株
株アイシン・マシントック
医療法人愛生館小林記念病院
愛知県中央信用組合
医療法人 Ai-DENTAL あい歯科
株アクセル
株アドヴィックス
一色うなぎ漁業協同組合
石橋建設興業株
エヌティークノ株
株オティックスホールディングス
株おとうふ工房いしかわ
金山化成株
木村建設株
株キャッチネットワーク
吉良建設株
医療法人社団宏和会西尾みなみ歯科医院
コクネ製作株
栄屋乳業株
山旺建設株
株ジェイテクト本社
柴田工業株
新三商事株
株杉浦製作所
医療法人大徳会
税理士法人高須会計事務所

大 学
田中克明税理事務所
株デンソー
株デンソーエアシステムズ
株デンソーエレクトロニクス
東海旅客鉄道株東海鉄道事業本部
トヨタ自動車株
株豊田自動織機
トヨタ車体株
株ナップ
西尾信用金庫
西三河農業協同組合
株ニッセイ
株二ノミヤ
フタバ産業株
文化シャッターサービス株
株へきなん動物病院
豊生ブレーキ工業株
株マエショウ
株マキタ
マルカ建設株
まるひ建設株
丸藤精工株
丸洋建設株
三菱自動車エンジニアリング株
三菱自動車工業株岡崎製作所
株ゆい・リビング
公 務 員
愛知県職員
西尾市役所
西尾市消防局
自衛隊

短期 大 学
愛知工科大学自動車短期大学
岡崎女子短期大学
名古屋経営短期大学
名古屋女子大学短期大学部
名古屋文化短期大学

専門 学 校
HAL名古屋校

就職先、進学先とともに卒業証書授与式時点のデータです。

学校活性化基金使用状況 報告

令和四年度

報告

四三一、六七五円

(令和五年三月末現在)

* 中部日本卓球選手権大会出場奨励費

* 全国総合文化祭東京大会出場奨励費

* 表装一式(拓本の生徒鑑賞用)

* 水泳部施設使用料補助

* 東海卓球選手権大会出場奨励費

* 日本学校農業クラブ全国大会出場奨励費

* 中国語スピーチコンテスト生徒助言謝金

* 全国高等学校少林寺拳法選抜大会出場奨励費

* 技の探求講座参加交通費

* タブレット端末保管庫

もできず取材活動も十分に行えず情報の入手が困難になっているのが現状である。昨年に統いて母校の歴史を知る先生がお亡くなりになつていて、紹介をさせていただくことをお許しいただたい。

浅井和郎先生

(九二歳)

先生は、昭和二年にお亡くなりになつてから、情報が入つたのは昨年の九月ごろであります。『野菜園芸』を担当されていた。昭和三八年に園芸科が設置されると同時に学科長として運営に携われ、園芸科発展に貢献された。とりわけ施設設備の近代化に努力されました。現在の農場の礎を築かれたのである。まさに、園芸科産みの親であり育ての親でもあります。

先生は、昭和三三年に着任され、終始在職中は座学よりも実習を重視され体で覚えることを教えられた。生徒には常に厳しく当たられ指導熱心な先生であったが、卒業生の面倒見はよく、とりわけ農業自営者の指導には熱心に取り組まれ、先生を慕う卒業生は非常に多い。西尾市が園芸の産地として発展したのも先生の尽力があつたといつても過言ではない。

新型コロナウイルス感染症が二類から五類に変わったが感染者が減少するどころか「第九波に入ったと言わざるをえない。」という報道がなされている。まさにその通りである。先日病院へ行つたところ、発熱外来で車内で待つている人々の数が以前と変わらない状況であつた。コロナウイルスに関する意識の低下があるのでないかと思われる。事実日常の活動でノーマスクの人の数がかなり見られる。収束はまだまだ思つてしまつてゐる。母校になかなか行くこと

このような状況の中で編集委員会も十分に行つてゐることで皆さんにご迷惑をかけてしまつてゐる。母校になかなか行くこと

ます。

報告が遅くなつたことをお詫び申し上げるとともに先生のご冥福をお祈り申し上げます。

編集委員長 市川徹男